



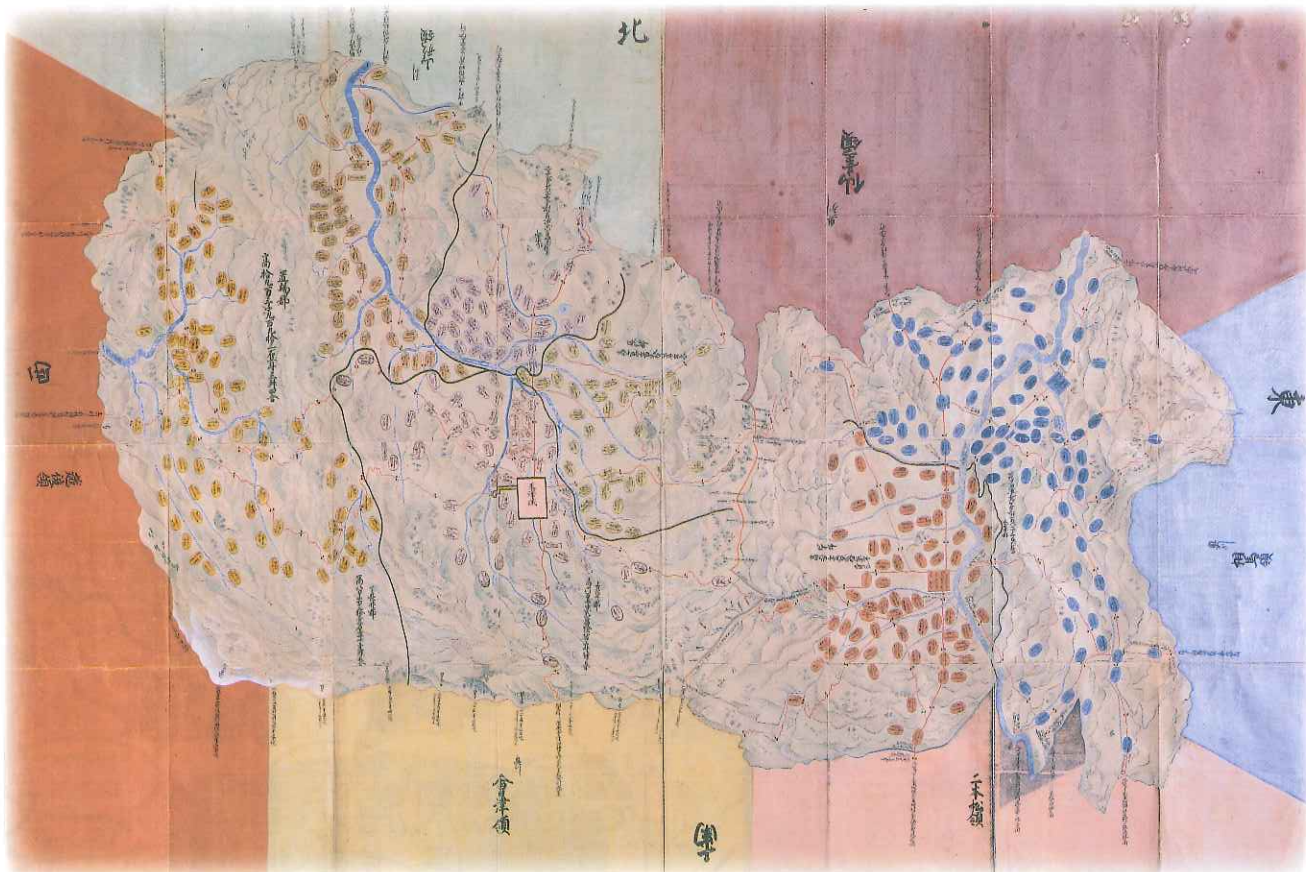
広域広報

おきたま

No. 46

平成24年(2012年)

1/15



「米沢福島ニテ参拾万石之御絵図」米沢市(上杉博物館) 所蔵

風俗
遺跡
置賜再発見
 自然 史跡
 ふるさと的心をさぐる
 郷土芸能 第18回

古来より、置賜地域には人が住み、共同で生活を営んできました。今回の置賜再発見は「置賜の歴史」について特集し、どのように置賜が発展してきたのかをご紹介します。



「米沢福島ニテ参拾万石之御絵図」概念図

広域広報おきたま No.46 目次

●消防広域化について	P2~3
●人事行政の運営の状況について	P4~5
●置賜再発見	P6~7
●新置賜広域ふるさと市町村圏計画について	P8
●子育て支援事業について など	P9
●平成22年度決算状況について など	P10
●おきたまニュース -置賜各市町からのお知らせ-	P11
●おきたま八食祭について など	P12

米沢市・南陽市・高畠町・川西町の広域消防業務がスタートします

◆広域消防本部と各消防署所の担当業務◆

各消防署所(分署・出張所含む)

消防係…消防出動、訓練、消防講話、地水利の調査等
 救急係…救急出動、訓練、救急講習会等
 救助係…救助出動、訓練等
 予防係…消防本部予防課に準じた業務、危険物安全協会事務、幼年少年婦人防火委員会事務等
 庶務係…各市町消防団事務、窓口申請受付業務等
 消防団に関する業務…訓練、研修・教育、施設及び車両等の維持管理支援等

消防署所について

広域化後の消防署所は、出動指令による消防救急活動を中心に、地域の防火防災に関する業務を行います。消防署所での消防救急出動は、広域消防本部からの出動指令により、所在市町を基本範囲として、広域的な体制で活動します。災害の規模や場所によっては、隣接市町への出動や共同での消防救急活動を行います。広域的な消防力強化を図ります。また、各市町消防団への訓練指導や担当部署との連携を強力に進めます。

広域消防本部

消防総務課…人事・福利厚生、予算・会計、給与事務、消防署間の調整等
 予防課…建築物の消防設備許認可、防火対象物・危険物施設立入検査、火災予防条例、火災時同時出動等
 警防通信課…施設・車両等の整備・維持管理、災害警防計画、指揮隊業務、高機能消防指令センター(119番通報)運用等

広域消防本部について

平成24年4月1日から、置賜2市2町の消防本部を統合し、広域的に消防救急業務を統括する置賜広域行政事務組合消防本部となります。広域消防本部は、現在の米沢市消防本部に設置し、これまで各市町で個別に行ってきた消防本部業務を統合することで、事務部門が効率化されます。また、置賜2市2町の119番通報の受け付けと出動指令を迅速かつ確実に行うため、新たに高機能消防指令センターを整備して、消防広域化と同時に本運用を開始します。

◆高機能消防指令センターの機能◆

迅速かつ効率的な出動指令により、複数の出動にも確実に対応します。



置賜2市2町の119番を1ヶ所で受け付けできます。通報位置・現場をすぐに特定し、画面表示します。



先進機能を利用した高機能消防指令センターの出動指令

- 119番通報を同時受け付け、置賜2市2町の通報を一括して受け付け対応します。
- 通報位置・災害発生場所の特定と画面表示
指令センター及び現場に出動する消防救急車両にも表示します。
- 車両の自動選択による迅速な出動指令
…重複した出動要請や、複数市町の災害発生に素早く対応します。
- 災害現場への正確なカーナビゲーション
…車両のカーナビゲーション機能が、正確で迅速な現場到着を支援します。
- 出動車両の現在位置を自動的に指令センターで捕捉
…広範囲な出動に的確に対応できます。

なお、整備事業は、本年1月中旬から機器類を設置して、各市町の消防署担当職員により、設置機器の操作訓練及び最終調整を行います。その後、3月下旬の仮運用期間を経て、4月1日から本運用を開始する予定です。

この記事に関するお問い合わせは消防広域化準備室までお願いします。

電話 02388-233246
 FAX 02388-244659

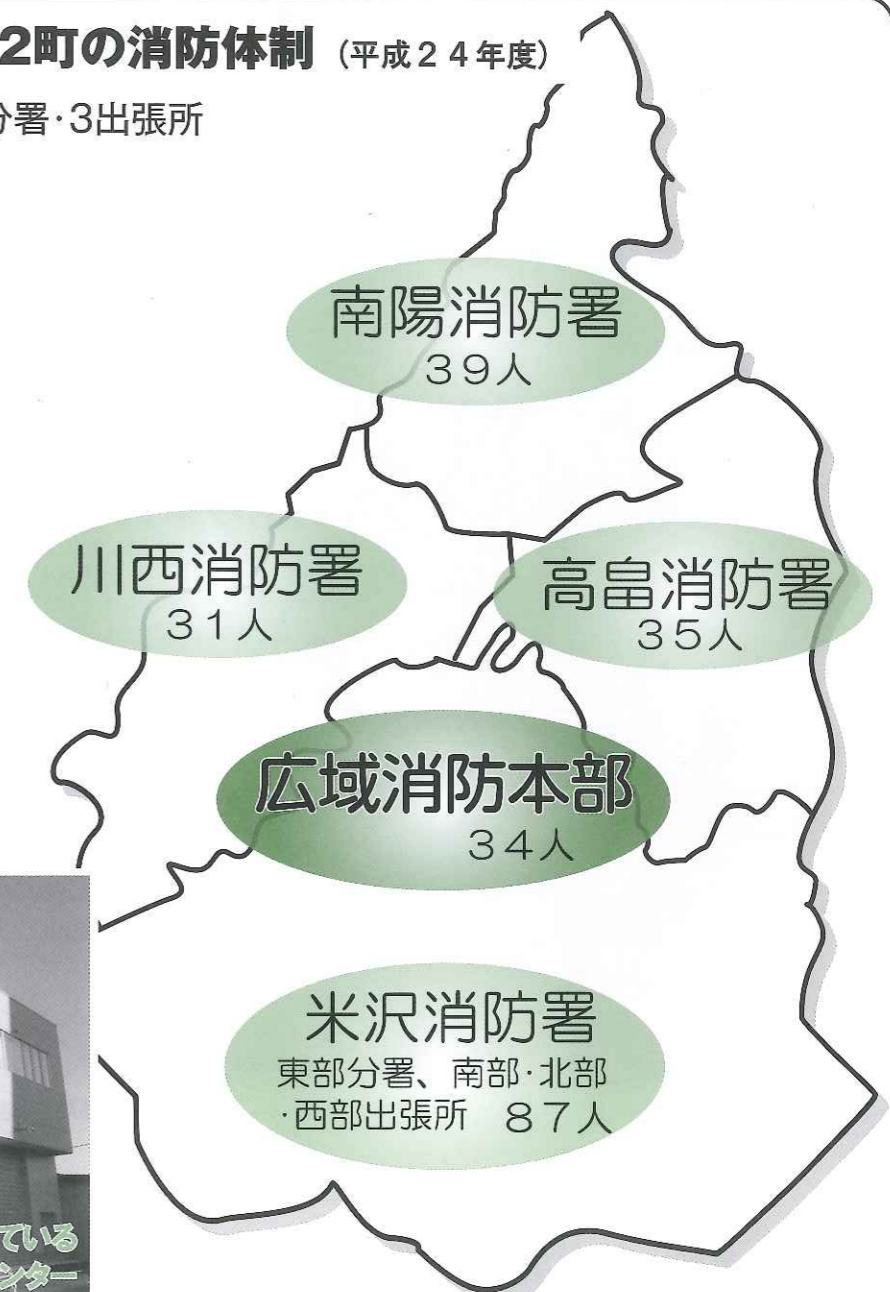
米沢市、南陽市、高畠町、川西町では、平成24年4月1日から消防救急業務を統合して、消防組織体制の強化と事務部門の効率化を図ります。今回は、平成24年4月からの広域消防体制及び広域消防本部と各消防署所の担当業務等を中心にお知らせします。

置賜2市2町の消防体制 (平成24年度)

本部・署所…1本部、4署・1分署・3出張所
 消防職員…226人



現在の米沢市消防本部跡に整備しているばしご車庫兼高機能消防指令センター



置賜2市2町広域消防体制ではこんなことも…

- 米沢消防署に、梯子車・救助工作車等を有する特別救助隊を配置します。
- 救命救急講習会を、年間120回程度開催して、応急手当の普及啓発を推進します。
- 証明書類(り災証明・救急搬送証明等)は各消防署で受け付けて、住民サービスの向上を図ります。
- 置賜2市2町の消防出動、当番病院案内等をテレホンサービスで迅速にお知らせします。

広域消防では、さらなる地域の安全安心確保と、住民サービス維持向上に努めます。

人事行政の運営の状況

平成22年度における本組合職員の給与、職員数、勤務条件など、人事行政の運営の状況について概要をお知らせします。

1 総括

(1) 人件費の状況(平成22年度普通会計決算)

歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A
4,612,466 千円	722,690 千円	733,392 千円	15.9 %

(注) 人件費には特別職に支給される給料及び報酬を含みます。

(2) 給与費の状況(平成23年度一般会計予算)

職員数 A	給 与 費				1人当たり給与費 B/A
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
85 人	344,081 千円	55,112 千円	119,970 千円	519,163 千円	6,108 千円

(注) 給与費は当初予算に計上された額です。職員手当には山形県市町村職員退職手当組合負担金を含みません。

2 一般行政職の平均給料月額等の状況(平成23年4月1日現在)

(1) 平均年齢・平均給料月額の状況

区分	平均年齢	平均給料月額
一般行政職	44歳	334,573 円

(2) 経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

区分	経験年数		
	10~15年	15~20年	20~25年
大学卒	271,500 円	323,400 円	364,100 円
高校卒	232,900 円	287,800 円	313,700 円

(3) 級別職員数の状況

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
標準的な職務内容	主事・技師	主任	主任	係長・主査	課長補佐	事務局長・課長	
職員数	7 人	11 人	20 人	24 人	10 人	9 人	81 人
構成比	8.6 %	13.6 %	24.7 %	29.6 %	12.4 %	11.1 %	100 %

3 職員手当の状況

(1) 期末・勤勉手当(平成22年度支給状況)

置賜広域行政事務組合			国		
(1人当たり平均支給額)	1,405 千円		—		
(支給割合)	期末手当 2.55 月分	勤勉手当 1.20 月分	(支給割合)	期末手当 2.60 月分	勤勉手当 1.35 月分
(加算措置の状況)	職制上の段階、職務の級等による加算措置		(加算措置の状況)	職制上の段階、職務の級等による加算措置	

(2) 退職手当(平成22年度)

区分	支 給 率				退職時の特別昇給	その他の加算措置
	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額		
自己都合	23.50 月分	33.50 月分	47.50 月分	59.28 月分	—	—
勲 奨	30.55 月分	41.34 月分	59.28 月分	59.28 月分	—	有
定 年					—	—

(3) 時間外勤務手当

区分	平成22年度決算	前年度決算
支給実績	6,127 千円	4,830 千円
1人当たり平均支給年額	79 千円	60 千円

(4) 特殊勤務手当

区分	全 職 種	
支給実績(平成22年度決算)	2,343 千円	
1人当たり平均支給年額(平成22年度決算)	68,904 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(平成22年度)	40.2 %	
手当の種類(手当数)	4 種類	
手当の名称	主な支給対象業務	支給単価
清掃業務手当	し尿又はごみ処理業務	日額 200 円
危険手当	①し尿処理施設の投入槽、貯溜槽、曝気槽、浄化槽等の清掃、点検、整備等の業務 ②ごみ焼却炉の炉内、煙道等の清掃、点検、整備等の業務 ③粗大ごみ処理施設の破砕機内部等の清掃、点検、整備等の業務	日額 1,500 円
職務手当	し尿、ごみ処理施設の技術管理者、電気主任技術者、ポイラータービン主任技術者の業務	日額 100 円
交替制勤務手当	クリーンセンターでの交替制勤務	1回 1,000 円

(5) その他の手当

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	平成22年度決算	
				支給実績	1人当たり平均支給年額
扶養手当	配偶者13,000円、配偶者以外は1人につき6,000円など	同	—	11,069 千円	212,856 円
住居手当	借家 上限27,000円	同	—	2,460 千円	307,500 円
通勤手当	交通機関利用 上限55,000円 交通用具使用 上限29,000円	異	交通用具使用の上限24,500円	8,422 千円	106,609 円

4 職員数の状況

(1) 部門別職員数(各年4月1日現在)

区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由
	前年	平成23年		
総務	16人	18人	2人	消防広域化準備に伴う職員増
民生	20人	18人	△2人	南陽やすらぎ荘退職者不補充による職員減
衛生	51人	49人	△2人	千代田クリーンセンター運転係の一部を臨時職員としたことによる職員減
計	87人	85人	△2人	

(2) 職員の採用・退職の状況(平成22年度)

	事務職	技能労務職	計
採用			
退職	4人		4人

5 勤務時間その他の勤務条件

(1) 勤務時間等の状況(標準的なもの)

1週間の勤務時間	勤務時間の割り振り				休 日
	始業時間	終業時間	休憩時間	週休日	
38時間 45分	8:30	17:15	12:00~13:00	土曜日 日曜日	・国民の祝日に関する法律に規定する休日 ・12月29日から1月3日までの日

(注) クリーンセンターや養護老人ホームの勤務場所では、上記と異なる勤務形態の場合があります。

(2) 主な休暇の種類と内容

区分	内 容
年次有給休暇	1年につき20日(20日を限度に翌年に繰越すことができます。)
病気休暇	職員が負傷又は疾病のため療養する必要があり、その勤務しないことやむを得ないと認められる場合に、その都度必要と認められる期間
特別休暇	選挙権の行使、結婚、出産、子の看護、交通機関の事故その他の特別の事由により職員が勤務しないことが相当であると認められる場合に、その都度必要と認められる期間

(3) 年次有給休暇の状況(平成22年度)

1人当たり平均取得日数
9.0 日

置賜 風俗 賜 遺跡 再 発見 自然見

郷土芸能 第18回

ふるさとを心ざぐる

次の世代に残したいもの、いつまでも語り継がれていくもの、家族や地域をつなげるきずな、はじめて出会ってもなげか懐かしさを感じる、遠い記憶のどこかにある情景、それは私たちの「ふるさと」にあります。

本組合では、置賜圏域を活力に満ちた地域にしていくための事業として、3市5町と連携しながら「広域的交流活動の促進」や「広域的人材の育成」をテーマとしたソフト事業を実施しています。

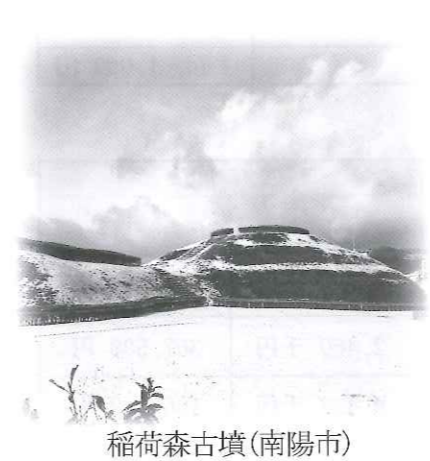
ここでは、その事業の一つである「ふるさと再発見事業」の一環として、置賜圏域ならではの地域資源をシリーズで紹介しています。第18回目は「置賜地域の歴史」です。置賜各地が現在までどのようなように発展・振興し、置賜の歴史と文化が生まれたのか、置賜各地に残る遺跡と共に見ていきましょう。

置賜には、古来より自然を生かし、文化を創造してきた歴史があり、その遺跡が各地に残っています。これらの遺跡は、歴史の解明に役立ちました。

また、日本の発展に力を尽くした数々の偉人も輩出しています。今回は、置賜の歴史に触れながら、どのように地域が発展してきたのか、ご紹介します。

◆旧石器時代～古墳時代◆

置賜には、少なくとも4万年以上前から人々が住んでいたことがわかっています。特に、西置賜地域では、旧石器時代の遺跡が数多く確認されています。飯豊町の上屋地B遺跡や小国町の岩井沢遺跡・東山遺跡・横道遺跡等が発掘されており、狩猟中心の生活を営んでいました。



稲荷森古墳(南陽市)

洞窟では、縄文時代初期の土器や石器が見つかっており、学術的にも価値の高い遺跡です。そのほか、高島町の押出遺跡や米沢市の台ノ上遺跡、長井市の長者屋敷遺跡、小国町の谷地遺跡などからも、土器や土偶などの遺物、住居や集落の遺構が見つかっています。

弥生時代に入ると、稲作が行われ、白鷹町の岡の台遺跡、南陽市の萩生田遺跡や百刈田遺跡で見つかっています。

◆飛鳥時代～室町時代◆

飛鳥時代の置賜は「憂嗜曇(うきたむ)郡」と呼ばれ、陸奥国(現在の宮城県及び福島県)に属していたことが『日本書紀』に記されています。その後、置賜郡となり出羽国(現在の山形県及び秋田県)となりました。この時代、郡家が



置賜郡成島荘の「成島八幡宮」(米沢市)

郡を治め、古い順に、高島町小郡山、南陽市郡山、米沢市大浦、川西町道伝などに設けられたと推測されています。これらの場所からは木製品や土器が多数発見されています。

平安時代、置賜郡は奥州藤原氏の統治下となりました。その後、源頼朝が力をつけて奥州藤原氏を滅ぼし、置賜郡を統治する地頭に大江広元が任じられました。そして、広元の次男の時広が跡を継ぎ、置賜郡長井荘の地頭となり、自らを長井と称して、米沢城を築きました。

室町時代になると、伊達家八代藩主宗遠が勢力を伸ばし長井氏を攻め、伊達氏が置賜郡を統治することとなり、長井氏の統

治は八代約191年で終わりを告げました。

◆戦国時代～江戸時代◆

伊達氏は、十七代藩主政宗の時代まで約210年に渡って置賜郡を統治しました。この間に伊達氏は領地を拡大しましたが、伊達政宗が豊臣秀吉の小田原攻めに遅参したことを理由に減封され、その後、後宮城にある岩出山城に移封されました。伊達氏の旧領は蒲生氏郷に増されましたが、蒲生氏の支配は8年ほどで終わ



伊達政宗が学んだ資福寺跡(高島町)

っています。蒲生氏に替わり置賜郡の統治を任せられたのが上杉景勝です。米沢城には上杉家の宰相直江兼続が入りました。

関ヶ原の戦いで上杉家は石田三成に味方し、最上義光を攻めましたが、石田方が敗戦したことにより、百二十万石の領地を米沢三十万石へ減封され、会津から米沢へ入部しました。上杉は石高を減封されても六千人余りいた家臣を抱え、直江兼続を中心に水路の開鑿や水田開発をし、新しい城下町の建設に取り掛かりました。現在も昔の町割りやまぼそのまま残されており、直江兼続の街づくりの思いを馳せることができます。

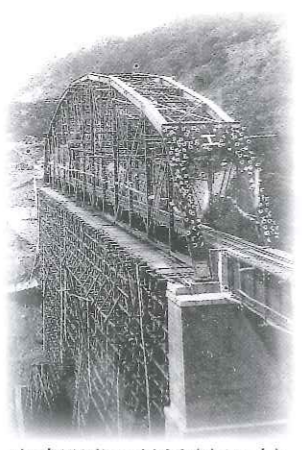
上杉家はその後、三代藩主綱勝の急逝によって十五万石となり藩政も人々の生活も貧しくなっていました。そして、九代藩主治憲(鷹山)の時代、各種の産業振興と質素節約を徹底させ、藩政改革を行いました。また、鷹山は現在の興譲館を創立して、医学館も設けるなど、学問を奨励し、置賜地域発展のための礎を築きました。

◆明治時代～昭和時代◆

明治になると、廃藩置県により米沢藩は米沢県となり、置賜県を経て山形県に併合されました。

明治22年には市町村制が施行され、米沢市が誕生しました。米沢市以外の置賜各市町は昭和の大合併により誕生しました。

明治中期には、現在の奥羽本線



完成間際の鉄橋(米沢市)

が開通し、人々へ利便性をもたらしました。

大正には、米沢市を2度の大火が襲いましたが、住民の協力により、迅速な復興が行われ、米沢五大祝典が開催されました。

昭和に入ると、戦争や羽越水害などが起こり大変な時代でしたが、置賜から多数の偉人を輩出しました。文学では、童話作家の浜田広介や小説家の井上ひさし、学術では建築家の伊藤忠太や中條精一郎、日本銀行総裁となった池田成彬、結城豊太郎、宇佐美淳など日本に誇る偉人が多数います。

◆最後に◆

平成に生きる私達は、今まで紹介した先人達が、長い時間をかけて築いてきた歴史の上に暮らしています。そして、私達はそれを後世へと引き継ぐためにも、たくさんの自然の恵みと歴史がある置賜地域をさらに魅力がある地域へ発展させ、次の時代へと継承していきたいものです。



上杉景勝公と直江兼続公 主従像(米沢市)



伊達氏によって開かれた越後街道十三峠のひとと黒沢峠(小国町)



結城豊太郎創設の臨雲文庫(南陽市)



歴代藩主に保護された安久津八幡神社の三重塔(高島町)

◆お待ちしております◆
ご感想やご意見がありましたら担当までご連絡ください。
また、置賜再発見では、みなさんからの取り上げてほしいテーマを募集していますので、情報をお寄せください。
担当：総務課企画係

(参考文献)
郷土出版社「図説 置賜の歴史」、
「置賜ふるさと大百科」他

置賜3市5町が統一して子育て支援事業を行います

～本組合の新しい制度として平成24年度から0歳から2歳に指定ごみ袋を配布～

本組合では、置賜3市5町が初めて統一して取り組む子育て支援事業の検討を行っています。平成24年度から2歳児までの紙おむつを使う乳幼児がいる家庭に、指定ごみ袋を一人あたり年間30枚配布する予定です。

指定ごみ袋の配布はお住まいの市町からを予定しており、現在、具体的な方法について本組合及び3市5町が検討中です。

詳しい内容が決まり次第、本組合ホームページ及び各市町の広報紙でお知らせします。



新浅川最終処分場の供用が始まりました

浅川最終処分場は、可燃ごみを燃やした灰や不燃ごみを処理して残ったガラスや瀬戸物くずなどを埋立しています。ごみ処理を行う上で、なくてはならないとても重要な施設です。

平成5年から埋立開始した最終処分場は、平成23年度で満杯になるため、隣に平成21年度から平成23年度の3年間で新しい最終処分場を建設しました。新しい処分場は、平成23年10月から埋立を開始し、平成30年度までの計画です。

浅川最終処分場は、米沢市浅川に所在しますが、この地を管理し、処分場から最も近い居住地の高島町中島の方々に、これまで30年以上の長い間ご協力をいただき、最終処分場の設置にご理解をいただいています。

本組合では周辺環境に十分配慮し、環境保全に努めています。すでに埋立を完了した跡地は、「浅川ふれあい公園」として生まれ変わりました。この度、埋立が完了した処分場についても覆土工事を終了したあと、周辺には芝桜を植えるなど周辺美化にも配慮しています。

ぜひ「浅川ふれあい公園」を一度ご利用いただき、隣の最終処分場をご覧ください。



昼休み時間のごみの直接搬入について

長井、千代田クリーンセンター及び小国リレーセンターへの昼休み時間のごみの直接搬入について、ご要望をいただき検討をしてきました。

直接搬入ごみは、車に積んで運ばれますが、可燃ごみや不燃ごみが混ざっていたり、また、リサイクルできるものも含まれていたりすることも多く見受けられます。

それらの分別や、危険なもの、処理できないものがないか等、確認を行い職員及び施設の安全性の確保が必要です。このため、人員の配置等の体制を整える必要がありますので、現状の受付時間での対応とさせていただきます。

なお、直接搬入される場合は、十分に分別をしていただき、ごみ減量化とリサイクルにご協力をいただきますようお願いいたします。

排ガス等の放射性物質測定結果の公表

千代田クリーンセンター焼却処理施設の煙突からの排ガスや処理水、また、浅川最終処分場の放流水及び処理する前の浸出水に含まれる放射性物質の測定を行いました。結果についてはすべて不検出でした。

さらに、焼却灰やし尿処理施設の脱水汚泥の測定も行いましたが、類似施設と比較して低い数値でした。

本組合の各施設では空間放射線量を毎月測定しています。近隣市町と同水準であり、自然界で問題となる数値ではありませんでしたのでご安心ください。

詳しい結果は、ホームページで公表しておりますのでご覧になってください。

1 千代田クリーンセンター焼却処理施設の煙突からの排ガス及び処理水の測定結果

▼測定日 平成23年10月26日(水)

測定物	排ガス(2号炉は休炉中)			処理水 ^{*1}
	1号炉	2号炉	3号炉	
ヨウ素131	不検出	—	不検出	不検出
セシウム134	不検出	—	不検出	不検出
セシウム137	不検出	—	不検出	不検出
セシウム合計	不検出	—	不検出	不検出

^{*1} 処理水とは、焼却施設内で発生した汚水を処理設備で処理したものをいい、施設内で再利用している。

2 千代田クリーンセンター焼却処理施設焼却灰及び浅川最終処分場放流水等の測定結果

▼測定日 平成23年11月28日(月) (単位Bq/kg)

測定物	千代田クリーンセンター		浅川最終処分場		
	飛灰 ^{*1}	主灰 ^{*1}	浸出水 ^{*2}	放流水 ^{*2}	脱水汚泥
ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出	—
セシウム134	170	13	不検出	不検出	—
セシウム137	230	23	不検出	不検出	—
セシウム合計	400	36	不検出	不検出	—

^{*1} 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれるダスト(ばいじん)をいう。主灰とは、ごみを燃やした燃えかすをいう。

^{*2} 浸出水とは、埋立物から浸出する水を遮水シートで集められたものをいう。放流水とは、浸出水を処理施設で処理し、河川に放流するものをいう。

置賜地域の新たな10年、さらなる広域連携の推進へ

～「新しいふるさと市町村圏計画を策定します」～

昭和40年代後半、マイカーブームや交通機関の発達により、人びとの生活は買い物や通勤通学など隣接市町への広がりを見せ、生活様式は広域化へと変化しました。こうした中、都市と周辺地域が一体的に発展を目指す「広域市町村圏」という考えが生まれました。

置賜3市5町は、昭和45年に「置賜広域市町村圏」として国の指定を受け、道路ネットワークの形成、住環境整備、産業振興、観光開発などを盛り込んだ「広域市町村圏計画」を策定し、都市と周辺地域が一体的に発展する創造性豊かな地域づくりを目指してきました。

さらに、置賜地域の広域的連携を推進するため、計画策定の翌年、置賜広域行政事務組合が設立され、行政事務の共同化を本格的に開始しました。

「広域市町村圏計画」は、10年間の計画期間として策定しましたが、昭和45年の第1次計画から順次計画を策定し、現在、第4次の計画期間中となっています。また、平成元年度からは圏域の一体性を高める取り組みとして「広域市町村圏計画」が「ふるさと市町村圏計画」に変更となりました。

第4次の計画は「新置賜広域ふるさと市町村圏計画」という名称ですが、まもなく計画期間が終了するため、置賜地域の新たな10年に向けた計画を策定します。

21世紀に入り国民の価値観、生活様式も多様化していますが、快適で活力ある地域づくり、そして豊かで住みよい地域社会の実現が求められており、このためにも地域住民の参加や3市5町の広域連携はさらに重要度が増すものと思われまます。

新たな計画策定は、住民の方のご意見を十分に踏まえるとともに、置賜が一体的に発展する将来像を見据えたものにし、と考えておりますのでご協力をお願いいたします。

新置賜広域ふるさと市町村圏計画の構想概要

～「むすび」「まじわり」「はぐくみ」を基本姿勢としたふるさと置賜づくり～

●圏域の将来像●

奏であう人と花 おきたま新世紀

～快適で活力のある圏域を目指して～

基本的姿勢

むすび

新しい世紀における多様な社会情勢の変化に対応し、あらゆる場面において、人と人、市町間、圏域間の多様な連携を強めていきます。

まじわり

多様な出会いや情報交流の中から、互いの個性や特長を認め合い、発想や知恵が生み出されることから、年齢や世代、地域や国を越えた交流を推進します。

はぐくみ

圏域の財産である自然、歴史文化、技術を未来に伝えるとともに、新しい発想で見直し、多様な価値を生み出す心をはぐくんでいきます。

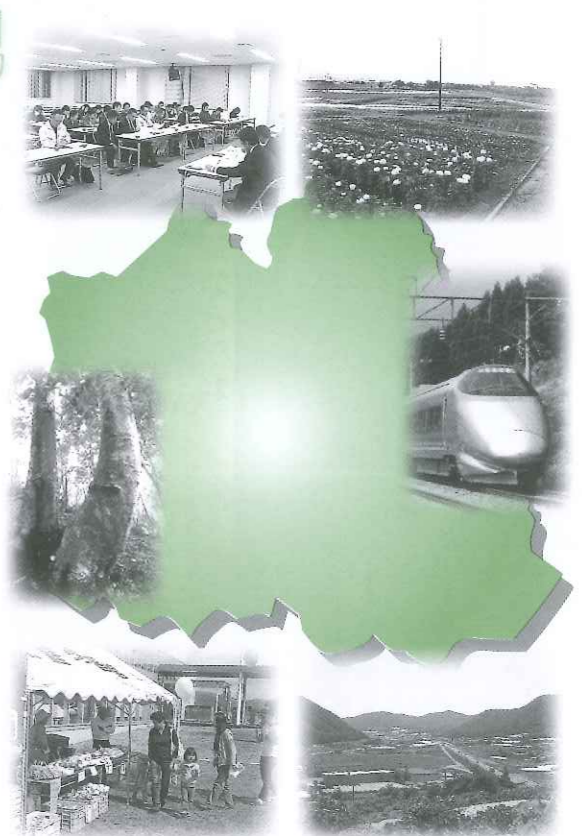
圏域づくりの基本目標

- ①広域連携で未来を拓く都市圏づくり
- ②やすらぎに満ちた快適な生活圏づくり
- ③特色にあふれた活力のある産業圏づくり
- ④創造性豊かな教育文化圏づくり
- ⑤主体的な市民活動によるふるさと置賜圏づくり

地域の財産

- 最上川・羽川源流域
- 吾妻・飯島山系をはじめとする豊かな自然
- 置賜神楽などの地域産業
- 米沢牛、ぶどうやラフランスなど農畜産物
- 上杉謙信をはじめ多彩な先人達を輩出する風土
- 長井黒獅子まつりや高玉芝居などの伝統芸能
- 美しい散居集落

課題別計画の推進目標



おきたまニュース～置賜各市町より～

第35回 上杉雪灯籠まつり

米沢の冬の最大イベント「上杉雪灯籠まつり」が上杉神社境内・松が岬公園一帯で開催されます。夜になると約300基の雪灯籠と3,000個の雪はんばりに照らされた会場は幻想的な雰囲気に包まれ、訪れた人をメルヘンの世界へと誘います。テント村物産展では米沢牛、米沢ラーメン、とろべこ汁など米沢の冬の味覚が大集合。その他にも多様なステージイベントなど楽しい催しが盛りだくさん。

日時:平成24年2月11日(土)～12日(日)
問い合わせ:上杉雪灯籠まつり実行委員会 TEL 0238-22-9607



ながい雪灯り回廊まつり

市民手作りの雪灯りが、各商店街の通り一帯を幻想的な雰囲気に包みこみ、寒い冬を心の底から「ポッカポッカあったかく」してくれます。日中はメイン会場で手作りスノーランタンや雪像づくりにも参加できます。

日時:平成24年2月4日(土)午後5時点灯予定
問い合わせ:長井市観光振興課 TEL 0238-84-2111(内線)

第6回なんよう雪灯かりまつり

手作りろうそくの灯かりによる幻想的な空間を体験しませんか。玉こんにやくなどの振舞いやお楽しみ抽選会も予定されています。

日時:平成24年2月4日(土)午後5時一斉点灯
問い合わせ:南陽市観光協会 TEL 0238-43-5230

米沢市上杉博物館開館10周年記念企画展

「よみがえる赤羽刀～米沢ゆかりの刀剣～」

太平洋戦争が終結し、連合国軍は国内の刀剣類を接収しました。多くは廃棄や海外流出しましたが、一部が赤羽(東京都北区)にあったアメリカ軍基地に集積されました。

2年後、当時の刀剣関係者によって、美術的価値のある刀剣約5,500本余が選別され、これらは接収時の保管場所にちなみ「赤羽刀」と称されています。その後、所有者が判明した一部は返還されましたが、大多数は最近まで東京国立博物館に眠ったままでした。

終戦50年に当たる平成7年、「接収刀剣類の処理に関する法律」が成立し、旧所有者の判明した刀剣類を返還し、残りの赤羽刀は一旦、国庫に帰した後、全国の公立の博物館等へ無償譲与、活用・公開されることとなりました。

当館では、郷土刀加藤系、赤間系を中心に37口の譲与を受け、平成14年から修復を行い、無銘のものを除いて20口の修復を終えました。本展ではそのお披露目とともに、館蔵の刀剣、古文書、古記録などを加え、新々刀の歴史をたどりながら米沢の刀鍛冶系譜をご紹介します。

◆問い合わせ◆
米沢市上杉博物館 TEL:0238-26-8001



浜田広介記念館 企画展

3D CGアニメ映画「friends ものけ島のナキ」公開記念

『泣いた赤おに』展

平成24年2月12日(日)までの期間、ひろすけ童話の代表作「泣いた赤おに」を原案とするアニメーション映画「friends～もののけ島のナキ～」の全国公開にあわせて、浜田広介記念館では「泣いた赤おに」展を開催中です。

初めて公開する原画をはじめ、さまざまな挿絵画家による「泣いた赤おに」の原画、映画関連の展示を行っています。ぜひ「泣いた赤おに」の世界をご堪能ください。

◆問い合わせ◆
まほろば・童話の里 浜田広介記念館
TEL:0238-52-3838
URL:<http://www.takahata.or.jp/user/hirosuke/>



おきたまごよみ 平成24年1月～6月

----- 1月(睦月) -----

- 1～2日 元旦祭(長井市タス)
- 14～15日 マタギの里で伝統文化体験冬編(小国町泡の湯温泉三好荘ほか)
- 18～20日 つる細工講習会(小国町国民宿舎飯豊梅花皮荘)
- 22日 第27回市民なわとび大会(南陽市民体育館)
- 25日 亀岡文殊「星まつり」(高島町亀岡文殊)
- 28日 大塚地区ミニ雪灯籠祭り(川西町大塚地区)
- 28日 小松地区スノーマンコンテスト(川西町小松小学校)
- 29日 親子で楽しむ音楽会～米沢のアマチュアオーケストラによるコンサート～(米沢市置賜文化ホール)
- 28～3/4 米沢市上杉博物館開館10周年記念特別展「よみがえる赤羽刀～米沢ゆかりの刀剣～」(米沢市上杉博物館)

----- 2月(如月) -----

- 4日 ながい雪灯り回廊まつり(長井市内)
- 4日 第6回なんよう雪灯かりまつり(南陽市内)
- 4～12日 たかはた冬まつり「冬咲きぼたんまつり」(高島町内)
- 18日 白い森の国「おぐに」冬のブナ林ウォーク(小国町経塚山ほか)
- 19日 えくぼプラザまつり(南陽市えくぼプラザ)
- 26日(予) 白鷹スキー場まつり(白鷹町営スキー場)
- 下旬 中津川雪祭り(飯豊町白川ダム湖岸公園(予定))

----- 3月(弥生) -----

- 11日 子育て支援事業 ケロポンズ親子コンサート(米沢市市民文化会館)
- 20日 山形交響楽団と地域住民コンサート(飯豊町町民総合センター「あ～す」)
- 24～25日 玉庭ひなめぐり(川西町玉庭地区内)
- 25日 国立音楽大学ウインド・シンフォニー置賜演奏会 米沢公演(米沢市市民文化会館)

----- 4月(卯月) -----

- 中～下旬 古典桜の里桜まつり(白鷹町釜の越農村公園ほか)
- 28日 伊佐沢念仏踊(長井市伊佐沢小学校グラウンド)
- 下旬～ 第26回ヤナ開きまつり(白鷹町道の駅白鷹ヤナ公園)

----- 5月(皐月) -----

- 上旬 全国白川ダム湖畔マラソン大会(飯豊町白川ダム湖岸公園)
- 3日 安久津八幡神社「春まつり」(高島町安久津八幡神社)
- 3～5日 春の童話まつり(高島町浜田広介記念館)
- 10～31日 白つつじまつり(長井市白つつじ公園)
- 19日 ながい黒獅子まつり(長井市内)

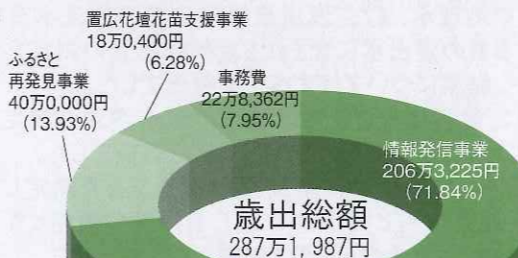
----- 6月(水無月) -----

- 10日～ あやめまつり(長井市あやめ公園)
- 下旬 いいで黒べこ祭り(飯豊町どんでん平ゆり園(予定))

平成22年度決算のあらまし

置賜広域行政事務組合の平成22年度決算が、昨年11月の議会定例会で承認されました。その内容をお知らせします。

ふるさと市町村圏事業費特別会計



差引残額(実質収支額) 902万2,365円

一般会計



差引残額 7億5,118万4,217円
翌年度へ繰り越す財源 3,751万6,617円
実質収支額 7億1,366万7,600円

～議会定例会を開催しました～

昨年11/15に議会定例会を行いました。この定例会では、副議長の選挙が行われ、佐藤仁一氏(高島町)が指名推薦により選出されました。

また、淡間佳寿美議員(米沢市)から、ふるさと市町村圏計画に関する一般質問がありました。議案の審議では、平成22年度決算2件が認定されるとともに、主に4月からの消防広域化開始に関連する議案として財産取得に関するもの1件、条例11件、補正予算1件の各議案が原案どおり可決されました。

議会の会議録は本組合ホームページに掲載しております。
(<http://www.okikou.or.jp/syomu/gikai/gikaitop.htm>)

有料広告募集について

置賜広域行政事務組合では、ホームページ、広域広報「おきたま」、ごみ袋に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。(トップ→「有料広告募集」をご覧ください。)

入札参加登録申請(追加申請)の受付について

本組合の競争入札参加の登録申請を次のとおり受け付けます。なお、申請区分により有効期間及び受付期間等が異なりますので、ご注意ください。詳細はホームページをご覧ください。
※平成24年4月1日から米沢市、南陽市、高島町、川西町の消防・救急業務が各市町から置賜広域行政事務組合に移りますのでご注意ください。

- ◆①建設工事、②測量・建設コンサルタント
有効期間…①、②とも平成24年度のみ
(追加申請のため、平成23年に登録済みの方は申請不要)
受付期間…平成24年2月1日(水)～2月17日(金)
- ◆③物品納入・役務提供
有効期間…平成24・25年度のみ
(追加申請のため、平成23年に登録済みの方は申請不要)
受付期間…平成24年1月16日(月)～2月3日(金)
※①②③いずれも郵送可、当日消印有効

▼申請要領及び必要書類等(次の方法により配布します。)
①本組合ホームページからダウンロード(<http://www.okikou.or.jp/>)
②本組合総務課又はクリーンセンター等各施設で直接配布
※各消防署では配布していませんので、ご注意ください。
③郵送により配布(申請区分を明記し、80円切手を貼付した返信用封筒を本組合総務課庶務係に送付してください。)

▼問合せ・申請先
〒992-0012 米沢市金池三丁目1番55号
置賜広域行政事務組合総務課庶務係 電話0238(23)3246



広域的連携推進事業 おきたま八食祭 ～つなぐれ！人・食・みらい～

去る11月13日、高畠町の置賜スポーツ交流プラザ『湯るっと』の芝生広場で「おきたま八食祭」が開催されました。

「置賜が食でひとつになろう！」「置賜のうまいものを再発見しよう！」というテーマを掲げ、各市町のお店や学生のグループなど35団体が出店したマルシェ（市場）には、悪天候にもかかわらずたくさんの方々が訪れました。

置賜出身の幸せ料理研究家相田幸二氏によるセミナーが行われました。

置賜の食をテーマに、身近にある食材で、料理を作る楽しさや、旬の食材の必要性など、楽しくわかりやすいトークに会場のみならずも熱心に聞き入っていました。



▲セミナー終了後、来場者と触れ合う相田氏

こちゃん考案！
「豆乳鶏鍋」レシピ

詳しくは、ホームページ
またはQRコードからご
覧ください。
<http://www.okikou.or.jp/a.html>



▲置賜地域で活躍する団体が、様々なアトラクションを披露し会場を盛り上げました。
写真 左：文化継承団体『獅伝』（白鷹町） 右：南陽宣隊アルカディオ（南陽市）

『湯るっと』へ行こう

『湯るっと』の愛称で親しまれる、広域交流拠点施設（余熱利用施設）は、本組合が策定した「地方拠点都市地域基本計画」に位置づけられた施設で、「交流、健康、環境」の3つのテーマを実践するための施設として整備されました。

「おきたま八食祭」が開催された芝生広場は、誰でも気軽にご利用できますので、ぜひご利用ください。

また、湯るっとは、冬期間も利用できる屋内プールや健康増進のためのトレーニングルームやスタジオなどを備えています。スタッフによる運動指導のほか、栄養士によるセミナー等も開催しておりますので、ぜひご利用ください。

問い合わせ
置賜スポーツ交流プラザ湯るっと
電話 0238(57)3948

広域的婚活推進事業

参加者募集中

おきたまLOVEワゴン

この事業は置賜各地域でまちづくり活動を行っている若者19名による組織「広域的婚活推進事業プロジェクトチーム（通称：おきたまLOVEワゴン）」が置賜地域の少子化と未婚化を解消するために、今年度、置賜地域で計3回のイベントを実施します。昨年、第1弾イベント「大人の米沢牛芋煮会」、第2弾イベント「ほろ酔いバスツアー」が終了し、合計6組のカップルが誕生しました。そして、今年、1月28日（土）に飯豊町の農家レストラン「エルベ」を貸切り、第3弾イベント「おムコさん、ウチくる？」を開催します。結婚を考えている方、パートナーとの出会いのきっかけを見つけるために参加してみたいかがでしょうか。



▲第2弾ほろ酔いバスツアー



▲第1弾大人の米沢牛芋煮会

広域的連携推進事業と広域的婚活推進事業

この事業は、新置賜広域ふるさと市町村圏計画（詳しくは、本紙8ページに掲載）に基づく事業として実施しています。置賜8市町の住民で構成された実行委員会やチームが、行政と連携を図りながら、企画及び実施しております。

広域広報



ご意見・ご要望をお聞かせください

置賜広域行政事務組合 総務課企画係
〒992-0012
山形県米沢市金池三丁目1番55号
電話：0238-23-3246 FAX：0238-24-4659
E-mail kikaku@okikou.or.jp



地球にやさしい植物性インクを使用しています。